

経営比較分析表（令和3年度決算）

奈良県野迫川村 ホテルのせ川

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	584	60	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
24,548	利用料金制	80.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	75.0	有

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

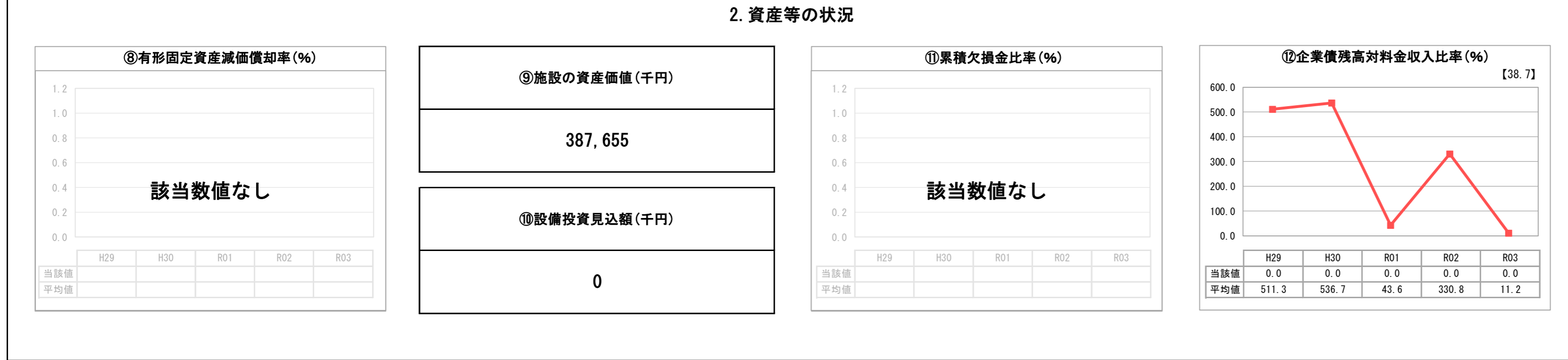


分析欄

1. 収益等の状況について
 当年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上が減少した。また、外国人利用者も昨年と同じく0だった。(令和元年93,868千円→令和2年76,198千円→令和3年67,631千円)

2. 資産等の状況について
 ホテル落成から40年以上が経ち、施設の老朽化が著しくなっている。今後、大規模な修繕等が必要となる。平成15年に借入れを行った企業債は平成29年に償還完了した。
 令和5年度にはエレベーター修繕を行う。

3. 利用の状況について
 平成24年に公営企業から指定管理による運営へと切り替わり、運営方針等の転換を行った。しかし新型コロナウイルス感染拡大により宿泊者は令和元年4,807人、令和2年3,387人、令和3年2,102人と減少し続けている。



全体総括
 新型コロナウイルスの影響により利用客数・売上が減少している。主な利用客は世界遺産「熊野古道小辺路」が通る伯母子岳の登山者(外国人含む)とレジャー目的であるが、冬季期間においては、積雪や路面凍結等の影響により、客数が夏季期間の3分の1にも満たない状態である。冬季期間の集客をどうするかが、例年の課題である。運営については、指定管理者による運営を継続する予定である。